

リハビリテーション便り

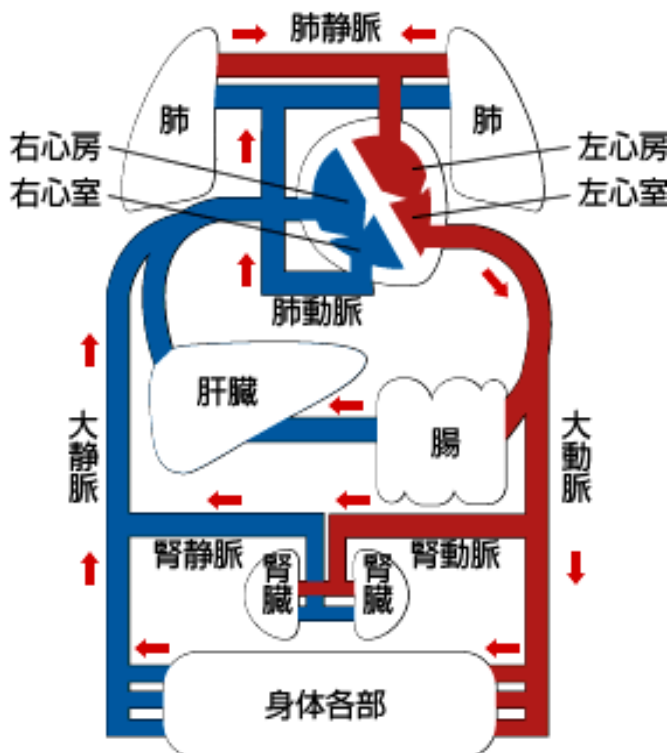
リハビリテーションだより6月のテーマは、
『循環器疾患に対するリハビリテーション』です。

当センターでは、心筋梗塞、狭心症、弁膜症、閉塞性動脈硬化症等に対し理学療法を施行しています。

今月号では身体の循環システムと、リハビリテーションの流れについてご紹介します。

循環 ①

心臓は全身に血液を供給しているポンプです。
運動量が増加した際、全身にエネルギーを供給するためには、



- ① 肺が、より多くの酸素を取り込めること
- ② 心臓が、より多くの血液を送り出せること
- ③ 臓器や全身の筋肉が、より多くの酸素を取り込み、効率的に機能できること

が、重要となります。

循環②

呼吸により肺から酸素を取り込む→心臓が酸素をたくさん含む血液を全身に送り出す→酸素をもらって筋が働く
この骨格筋への酸素輸送において呼吸・循環・代謝が相互に絡み合い、各々が重要な役割を果たします。



心疾患を発症した患者さんでは... 心臓が十分な血液を全身に送り出せない！でも心臓に直接リハビリはできないので、筋での血液の流れをよくして、筋が酸素を取り込みやすい状態にしてあげましょう。

リハビリテーション



リハビリテーションでは、徒手療法、ストレッチで循環をよくした後、有酸素運動などを行なっています。